

第4号議案 平成29年度事業計画及び収支予算について

1 事業計画

(1) 基本方針

森林は、水源のかん養や土砂災害の防止、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止など多面的な機能を持っており、私たちの生活に多くのうるおいや安全・安心を与えてくれる。また、森林から生産される「木材」は、調湿性や断熱性に優れ、温かみや柔らかさも兼ね備え、住宅等に利用することで地球温暖化の原因となる二酸化炭素を長期間貯蔵するなど、人にも地球にもやさしい天然資源であり、私たちの生活に多くの安らぎを与えてくれる。

県土に目を転じると、森林の4割を占めるスギ・ヒノキ人工林では、その6割以上が収穫可能な林齢に達しており、伐採・利用・植栽・保育という生産サイクルが円滑に循環し、「利用」と「再生」のバランスがとれた計画的かつ積極的な木材利用の促進と、そのための需用創出が求められている。近年、森林・林業・木材産業は厳しい状況が続いていたが、ここに来て木材需要や木材価格が上向きに転じ、木質バイオマス発電所の稼働やCLT(直交集成板)の新技术など国産材需要の先行きにも明るい兆候が見えてきた。

このような情勢を踏まえ、「ひょうご木の匠の会」設立目的である兵庫県木材の利用を通じて資源循環型林業の確立と豊かな森づくりを応援するため地域材を使用する意義や木の良さのPRを一体的に行うほか、情報交換や各種研修の開催、県行政では対応が困難であった企業情報を前面に出したエンドユーザー向け広報活動などを柔軟かつ積極的に展開し、活動目的を同じくする団体の支援や各種行事、研修会への参画と広報活動を行う。

(2) 実施計画

会員の意向を踏まえ、計画内容は見直しを行うものとする。

① エンドユーザーへの活動

ア ひょうご木の匠の会のホームページを、エンドユーザーが真に求める情報を充実させて、閲覧しやすくするとともに、逐次更新を行う。

イ エンドユーザーが兵庫県の木造住宅ローンを活用し、県産木材を利用した木造住宅に関心を持っていただくための普及啓発活動の一環として講演会の開催、PR冊子の発行、配付を行う。

ウ 平成27年5月、森を守り自然と調和した安心安全な理想の国「ひょうご木づかい王国」の情報発信の場として、神戸ハーバーランドモザイクに開校された「ひょうご木づかい王国学校」は、年間2万人の家族連れがワークショップを通して木に触れ、地元産の木の心地よさ、ものづくりの楽しさを体験する場として欠かせない施設であるため、その存続に向けて当会として運営費の支援を行う。

エ ひょうご木の匠の会を周知させるため、「ひょうご木の匠の会～ご案内～」パンフレットを増刷し、イベントや研修会場で来場者に配布する。

② 県産木材を使用した木造住宅建築促進の活動

ア 平成28年に会員に配付した「匠の会工事用PRシート」をそれぞれの木造住宅建築工事現場に張幕することにより、当会のPRとともに県産木材を使用した建築促進活動を行う。

イ 兵庫県木材業協同組合連合会や木材利用推進協議会などと連携して、県産木材の利用拡大に向けた取組みを行う。

③ 活動状況の広報活動

県域で開催された下記のイベント行事に出展及び協賛広告を掲示して、森林林業施策の紹介や木材利用促進等について、兵庫県木材業協同組合連合会をはじめ、他の林業関係団体と共同で会場内で広報・啓発活動を行う。

ア 第32回ひょうご木材フェア

イ 第39回兵庫県民農林漁業祭

ウ その他ひょうご木づかい王国学校でのワークショップなど

④ 研修会、勉強会の開催

ア 会員のニーズを踏まえて、講師を招いて研修会を開催する。
イ 会の活動に参考となるシンポジウム、講演会の開催案内を行う。

⑤ 総会、役員会の開催

ア 毎年1回、総会を開催する。

イ 必要に応じて、役員会を開催する。

⑥ その他

事務局を受託している(一社)兵庫県林業会議の機関誌「兵庫の林業」No.280号～No.283号を会員に配布する。